

耐塩性が強く茎葉が多収な稲発酵粗飼料用品種 「ソルトスター」の活用

1. 震災で発生した津波の被害を受けた農地では、海水の影響が残りイネの生育障害が発生することがあります。また、令和6年能登半島地震による津波被災地域では、畜産が行われており、茎葉の割合の高い稲発酵粗飼料用品種が利用できます。そこで、本資料では、海水の影響が残る農地で農業を再開（飼料用）するために、耐塩性が強く、茎葉を主体とする稲発酵粗飼料用の品種「ソルトスター」を紹介します。

2. 「ソルトスター」は耐塩性が強く、極晩生です。稈長が128cmと極長稈で、耐倒伏性は「リーフスター」より弱い“中”です（表1、写真1）。地上部乾物収量が「リーフスター」に比べて育成地（茨城県）で15%程度多収です。消化されやすい茎葉の割合が高く、稲発酵粗飼料に適しています。サイレージの作り方から給餌までの利用体系は従来品種と同じです。汎用性の高い機械等で対応可能です。また、収穫物については、畜産経営者等と事前にご相談いただき、計画的な作付けをご検討ください。

表1 「ソルトスター」の特性概要

調査地、栽培条件	作物研究所 谷和原圃場（2013～2014年）、早植・標肥	
	ソルトスター	（対照）リーフスター
品種名	ソルトスター	（対照）リーフスター
早晩性	極晩生	極晩生
出穂期(月日)	8. 29	8. 23
黄熟期(月日)	10. 01	9. 22
成熟期(月日)	10. 14	10. 11
稈長(cm)	128	106
穂長(cm)	25. 5	20. 3
穂数(本/㎡)	219	240
耐倒伏性	中	強
推定TDN含量(%) ¹⁾	53. 0	56. 3
推定TDN収量(kg/a)	124. 5	93. 4
絶乾全重(kg/a)	183	158
絶乾全重標準比(%)	116	100
玄米重(kg/a)	48. 9	28. 3
玄米重標準比(%)	173	100
玄米千粒重(g)	27. 2	20. 2
幼苗期耐塩性 ²⁾	強	—
耐塩性 ²⁾	極強～強	弱



写真1 「ソルトスター」の耐塩性

- 2013年の播種日は4. 18、移植日は5. 15。2014年の播種日は4. 16、移植日は5. 14。
- 2014年の調査のみ。黄熟期のTDN含量(%)。畜産草地研究所のTDN含量推定式： $TDN=16.651+1.495 \times (OCC+0a)-0.012 \times (OCC+0a)^2$ 。
 - 耐塩性は0（全く正常、あるいは10%以下の葉枯れ）～10（90%以上の葉枯れ、あるいは枯死）の11段階で達観評価。同試験で、Nona Bokra（極強）とコシヒカリ（弱）あった。リーフスターは別試験で判定した。

海水（1/10濃度）溶液を添加。「たちすがた」の耐塩性は“やや弱”（左ポット）、「ソルトスター」は“極強～強”（右ポット）、「ソルトスターの兄弟系統」（中央ポット）。

（種子の入手）農研機構のウェブサイト「品種の利用方法」から申請することで、購入が可能です。https://www.naro.go.jp/collab/breed/breed_exploit/index.html

問い合わせ先：農研機構 作物研究部門広報担当 029-838-8563